

定期試験の成績開示の向上について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年2月4日）

定期試験の成績開示の向上について、ぜひともご検討いただきたくお願いいたします。

(1) 科目別成績分布の開示

同志社大学では、ホームページ上で成績評価（得点分布）一覧が開示されています。それをみれば、その科目に何人登録していて、成績分布の状況がどうなっているのか、平均値は何点なのか一目瞭然です。なお、北海道大学でも「成績分布WEB公開システム-成績評価分布状況表」において同様の開示を行っております。これに対して、京都大学では、履修登録者数と単位取得者数のみ開示しています。

成績分布を科目ごとに開示すれば、学生は自分の位置が把握できるため大変有益であると考えます。また、教員の方々も自ずから成績のばらつきを意識されて、作問や採点をされることでしょうかから、バランスのとれた分布になることが予想されます。「GPA 制度における学部間格差について」（2017年4月21日回答）にもある程度の解決策につながることを期待されます。科目間の分布がある程度同じになれば、普段の授業では教室が閑散としていて、試験の時だけ学生が大挙して押し寄せるといような見苦しい事態は少なくなるのではないかと思います。「学部ごとの点数分布や平均など、具体的に検証を進めていくこととしており」（同上）と回答されておられますが、隣の同志社大学で既に導入されていることですので、同大学に教えを請うて、ぜひとも取り入れていただきたいと存じます。

(2) 開示時期の早期化

現状では学部によって成績確認期間・異議申立期間が大きくことなっています。今年度後期試験についてみると、早いのは全学共通科目2月15日～19日、工学部・教育学部2月21日～23日、遅い学部は経済学部3月26日～28日、法学部3月30日～4月3日となっています。私は経済学部ですが、教務掛の方になぜこんなに遅いのかお聞きしたところ、経済学部の先生方はお忙しいとの回答でした。それでは、全学共通科目・工学部・教育学部の先生方はヒマなののでしょうか。1月末に受験して、3月末になってようやく成績発表というのでは、異議申し立ても機能しません。

上記(1)の成績評価分布状況表を作成して、採点が終了した科目から順次成績分布を開示すると同時に、異議申し立ての受付を開始すればよいと思います。大人数の授業は、答案枚数が多くて採点するのに時間がかかるでしょうから、その科目の成績開示が遅くなるのはやむを得ないのではないのでしょうか。そうした科目は、例えば、前後期で開講する、複数の教員が同じ科目を同期に開講するなどの措置を講じればよいと考えます。

以上、よろしくご検討ください。

【回答】（回答日：2018年4月10日）
（教育推進・学生支援部教務企画課）

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

（1）学部ごとの点数分布や平均などの開示について具体的な検証を進めるに際しては、いただいたご意見を踏まえて、他大学の取組も参考にしながら、本学における適切なあり方を検討していきたいと考えております。

（2）各学部がそれぞれのカリキュラムに基づいた履修方針やコース分属審査など学務事務に係るスケジュールを策定している現状から、成績確認期間・異議申立期間にもばらつきが生じる結果となっています。今回のご質問は経済学部ということなので、状況を詳しくお聞きになって個別の事情をご理解いただければと思います。他方で、ご意見をいただいた早期の成績開示については、適切なあり方を検討していきたいと考えております。